実践報告②　**令和7年11月6日（水）校内研究**　研究推進部

2年生　生活科「インタビューすることをきめよう」









生活科の単元「もっともっとまちたんけん」で地域の方へのインタビュー内容を考える学習をしました。児童が互いの考えを認め合い、質問し合うことで、聴く力・話す力の育成を図りました。

【成果と課題】

〇成果（学校生活において）

・友達の意見を楽しんで聞く姿が見られるようになった。

・相手を意識して発表ができるようになった。

〇課題

・話し合いの場面では、発言する児童に偏りが見られた。全員が主体的に話し合いに参加できるように。役割を具体的に決める必要があった。

・意見の理由付けに根拠がなかった。写真、メモ、調べたことなどの具体物をもって話せるとよかった。

今後も、対話的な学びを軸に、児童が互いのよさを認め合い、主体的に学び合う授業づくりを進めていく。

【協議会の様子】

分科会提案

話し合う内容を実際に町探検に行く場所でのインタビューにしたことで、児童にとって必然性のある話題設定をした。

目指す児童像

〇友達の意見のよさに気付き、自分の考えを深めることができる。

本時の学習は、町探検のインタビュー内容を精選していく活動だった。友達の発言のよさに気付き、自分の考えを深める姿が見られた。一方で、意見がまとまらず、じゃんけんで決めようとするグループがあった。研究の柱でもある『友達の意見を最後までよく聞き、意見の良いところに気付けるようにする』を日々の授業でできるように計画を立てることが大切である。